

活動レポート

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会 岡本彩加

青年技術士交流委員会 公開講演会

「札幌の“道”のはじまり～街の発展と道づくり～」

青年技術士交流委員会では、「技術士」の知名度向上を目的として、一般の方に向けた公開型講演会を行っています。

本稿では、平成29年11月に開催した講演会の様子をご報告致します。

1. 開催概要

◇「札幌の“道”のはじまり～街の発展と道づくり～」

札幌の街の発展と道づくりの関連性、その裏側に隠された秘話等について、当時の技術や現在の札幌の街に焦点をあて、講演、および会場一体型のトークディスカッションを実施しました。

◇日時：平成29年11月11日(土)

15:00～17:00

◇場所：sapporo 55ビル1階 インナーガーデン
(中央区北5条西5丁目7番地 紀伊國屋書店
札幌本店前)

◇参加人数：約130名

◇講演者：

和田 哲氏：(株)あるた出版

密山 彰浩幹事：ダイシン設計(株)

木本 光則幹事：(株)ドーコン

司会進行：

中前 千佳幹事：(一社)北海道開発技術センター

2. 札幌の“道”のはじまり

～街の発展と道づくり～

150年前の明治初期に開拓使が入り、その後、1972年の札幌オリンピックを経て、急激な発展を遂げた札幌。その発展の裏には、道づくりや街づくりに関係する技術者達の様々な物語がありました。

講演会の第一部では、株式会社あるた出版より、「まち歩き研究家」としてもご活躍されている和田哲

氏をお招きし、札幌の道のはじまりから、その後、どのようにして街が発展していったのか、歴史的裏話を交えつつ、今日の札幌と当時の様子を照らし合わせながらお話頂きました。

3. 橋の歴史と技術

第二部では、札幌の橋の歴史と技術について、当委員会幹事の密山技術士が講演しました。

豊平川に架けられてきた歴代の橋の紹介では、当時の技術者が暴れ川として有名な豊平川とどのように対峙してきたのか知ることができました。また、



写真-1 古地図について解説する和田氏



写真-2 司会進行を務める中前技術士

札幌市内だけでも多くの橋が架けられており、私達の世代が直面する橋の新たな課題と最新の維持管理技術をわかりやすく説明しました。



写真-3 橋の役割について説明する密山技術士

4. 「道」と「まちづくり」

続いて、当委員会幹事の本木技術士より、「道」の役割から「まちづくり」に至るまで、札幌市内で推進されている様々な技術について講演しました。特に、近年注目されている「無電柱化」の紹介では、一般の方々もとても真剣に聞き入っているようでした。講演の最後には、「道」から賑わいをつくる「みち」の「まち」化について説明し、これからの札幌のまちがどのように発展していくのか楽しみになりました。



写真-4 道の役割について説明する本木技術士

5. 会場全体でトークディスカッション ～これからの札幌のまちづくり～

すべての講演を終えた後、当会幹事が考えた、札幌の道や街、交通に係る「札幌〇×クイズ」をトーク

ディスカッションに先駆けて会場全体で行いました。クイズの答えを中前技術士が発表する度、会場からは「へえ～」「なるほど」といった声が聞こえ、クイズ作成に尽力した幹事としてはホッと胸を撫で下ろすことができた瞬間でした。この〇×クイズで会場の雰囲気が醸成された後、演者3名と会場全体での「これからの札幌のまちづくり」と題したトークディスカッションを行いました。会場からは、札幌の道や街に関する多くの質問が寄せられましたが、和田氏の豊富で幅広い知識と橋及び道の専門家である密山技術士と本木技術士の掛け合いにより、活発な意見交換ができました。一般の方の質問を直接お聞きするよい機会となったと思います。



写真-5 トークディスカッションの様子

6. 講演会を終えて

当委員会では、一般の方に向けた公開型講演会をここ数年に渡りインナーガーデンで継続して行ってきましたが、今回は過去最多のお客さんにご来場頂くことができました。立ち見も出る中、集中して講演を聞き入っている様子から、札幌に住むみなさまの「まちづくり」に関する関心の高さが伺えました。本講演会では、技術士がどのように「まちづくり」に携わってきたのか、またこれからの札幌をどのように考えているのか、一般の方にお伝えすることが出来たと感じています。